



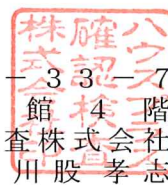
HOUSE PLUS

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成28年11月15日

受付日：平成28年9月23日
受付番号：HP16-KT146

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

| | |
|-------------|---|
| 1. 接合金物名称 | 「オメガ羽子板プレス10」 |
| 2. 試験依頼者 | 株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1 |
| 3. 目的 | 当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。 |
| 4. 試験内容 | 柱頭柱脚接合部及び横架材端部接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。 |
| 5. 試験体仕様 | <p>1) 接合金物</p> <p>「オメガ羽子板プレス10」材 質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15以下 Mn;0.60以下 P;0.045以下 S;0.05以下 寸 法：M12 L=280mm 背板部 t=3.2mm ボルト用孔 φ13mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側：「六角ボルトM12」材 質：機械的性質の強度区分4.6に適合する炭素鋼(JIS B 1180^{*1}) 寸 法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>「六角ナットM12」材 質：機械的性質の強度区分4に適合する炭素鋼(JIS B 1181^{*2}) 寸 法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>「角座金W4.5×40」材 質：SPHC(JIS G 3131) 寸 法：40mm×40mm t=4.5mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>横架材側：「六角ナットM12」材 質：機械的性質の強度区分4に適合する炭素鋼(JIS B 1181^{*2}) 寸 法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>「角座金W4.5×40」材 質：SPHC(JIS G 3131) 寸 法：40mm×40mm t=4.5mm 表面処理：Ep-Fe/Zn8/CM2(JIS H 8610 及び JIS H 8625)</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱：105mm×105mm×600mm スギ 無等級材 含水率：11.5～13.0% 全乾密度：0.43～0.46g/cm³</p> <p>横架材：105mm×105mm×1000mm スギ 無等級材 含水率：11.0～14.0% 全乾密度：0.44～0.47g/cm³</p> <p>*1 JIS B 1180 六角ボルト *1 JIS B 1181 六角ナット</p> |
| 6. 試験条件等 | 接合金物の固定：角座金W4.5×40及び六角ボルトM12・ナットM12を用いて緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) 試験体の固定：柱芯より横架材両木口側に400mmの位置で角座金W4.5×40及びM12ボルト・M12ナットを用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値：20N・m) |
| 7. 試験結果 | 短期基準接合耐力 10.0 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す) |
| 8. 試験場所 | ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番 |
| 9. 試験実施日 | 平成28年9月23日 |
| 10. 試験実施担当者 | ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 宇山 善博 所 義登 |

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。